



関甲新学生野球 2部リーグ戦

谷中、粘り勝ち

埼玉大学戦 2勝1敗 勝点2



写真 粘りをみせ、1、3戦で完投したエース谷中

1戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
埼玉大学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
本学	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1x	2

2戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
本学	2	0	2	0	0	1	0	2	0	7
埼玉大学	3	0	0	5	0	0	0	0	x	8

3戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
埼玉大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本学	0	1	0	0	0	0	0	1	x	2

当部は、関甲新学生野球秋季リーグ戦2戦目となる埼玉大学戦を2勝1敗で辛勝し、勝ち点2としました。

【1戦目 9/16】1回表、先制を許し1-0。3回、1番小熊隼人、2番根本拓真が安打。その後、二者連続四球で押し出しの1点を取る。しかし、1-1の同点としたものの相手投手に苦戦しその後は無得点。谷中規彦の力投もあり10回へ。大会規程で1死満塁の状況から試合が行われ、谷中が二者連続三振とエースの意地を見せる。当部の攻撃は小熊。四球を見極め、2-1のサヨナラ勝ちを決めた。

【2戦目 9/18】1回表、1番中根伶史が四球で出塁、3番小熊が三塁打で先制。5番乾勝己が四球で1.3塁とし、重盗で

3塁走者の小熊が生還しこの回2点を獲得。1回裏、エラーが重なり3点を失う。3回表、1番中根が安打で出塁し、小熊、芳賀の安打で1点を追加。1.3塁から重盗で2点目を追加。4-3で再逆転。4回裏、先発滝田充宏が崩れ、和田凌吾に交代。和田も打線に捕まり、神尾龍次に交代。神尾は悪循環を止めるもののこの回5失点と再逆転される。6回1点、8回2点と1点差まで追い上げるが一步及ばず、8-7で敗北。

【3戦目 9/19】2回裏、5番小熊が出塁し、7番金子が右適時打となる二塁打で先制。その後チャンスを生かせず迎えた8回。9番岩本が追加点を入れる。先発はエース谷中。9回まで無失点で抑え、チームを勝利に導いた。(文・明田川諒)

星取表 (2017年9月19日現在)

順位	大学	平成国際	埼玉	本学	松本	新潟	茨城	試合	勝	負	勝点	勝率	勝下
1	平成国際			☆☆	☆☆☆			5	4	1	2	0.8	3
6	埼玉			☆☆☆		☆☆		5	1	4	0	0.2	3
1	本学		☆☆☆				☆☆	5	4	1	2	0.8	3
4	松本	☆☆					☆☆☆	5	2	3	1	0.4	3
3	新潟	☆☆☆	☆☆					5	3	2	1	0.6	3
5	茨城			☆☆	☆☆☆	☆☆☆		8	2	6	0	0.2	2

次回予告

対・平成国際大学戦

9/23(土),24(日)

会場：本学野球場